

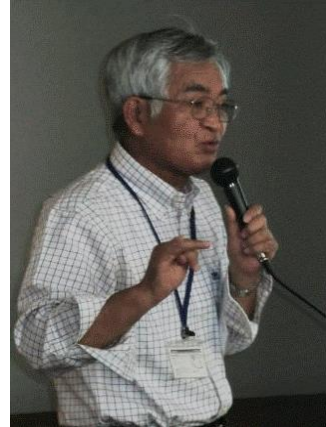


会長 挨拶

長沼町内会の設立は、昭和14年10月5日(木)で来年80周年を迎えます。

これまでに、多くの役員の方々のご尽力により、長沼町内会が発展して参りました。

この度、この伝統ある「長沼町内会会長」に選任されました、毛利勝男でございます。会長という大役をおおせつかい、恐縮するとともに、その責任の重大さに戸惑っておりますが、引き受けたからには、誠心誠意やってまいる所存でございますので、皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



横浜市栄区は、WHO(世界保健機構)が推進する「セーフコミュニティ」の認証を受けており(日本で7番目の都市)、今年が再認証の年になります。(5年毎)

セーフコミュニティには8つの分科会があり、そのひとつの「災害安全対策分科会」は6月17日(日)「豊田小学校での避難所訓練」が審査対象になりますので1人でも多くの皆様の参加をお待ちしております。

私は、「防災・防犯・ごみ問題」を最重要課題と考えております。

- ☆自助 … 「自分の身を自分で守る」。例えば、自宅の家具等「転倒防止」等
・自分や家族の安全を確保し、備蓄品などにより自宅で生活可
- ☆公助 … 市、区役所・警察署・消防署・医療機関その他の公共機関の活動
- ☆共助 … 「向こう三軒両隣」のお付き合い。地域がまとまって助け合う
・隣近所や地域の安否確認や救助などの支援

町内会として、「防災・防犯」には「共助」が最も重要に考えております。

そのためには、「向こう三軒両隣」のお付き合い。

いわゆる「顔の見える関係」を、作っていきたいと思っております。数年前から「飯島中学校」でやっております「あいさつ運動」を長沼町内会でも推進していきたいと考えております。また、防犯灯、防犯カメラの充実、看板等を利用しての防犯対策をやってまいります。ごみ出しについては、環境問題を含め、皆様一人一人のモラルの問題ですので、分別には、ご協力をお願い致します。

長沼町も「セーフコミュニティ」(安全安心まちづくり)を目指し、町内の皆様方から「長沼町に住んで良かった」「長沼町に越してきて良かった」と言われる街にしていけるべく、役員一丸となって推進していきますので、皆様方のご理解、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

会長 毛利勝男